

「別記」

年末斗争対策委員会開催の提唱

全城西の兄弟諸君！

Pニタントと斗争の着目、権達のトシ長生法に極度にオビヤかされて居る年の考だ！
ギン紙だ・如き書きたと奴等労働者家庭の物下をこぼして、町長・健全部下・運動部員・経済部
取等々を行つてゐる。

だが之は政府指導の援助の下に足並揃へてやつて居る。産業合理化促進の為に外から入つた。其の
結果は中小企業買収・撤少一夫一婦人の合併、新機械の取付り、大量減産等々となつて、現水
ておろすはなないか。

この産業の合理化こそは労働者奴等が口を叩いて戦争準備の為に最も切實に最も計畫的かつて
あることだ。吾等労働者の合理化は日本労働者の撤退を促進する。PニタントとPを形好した十二
月より断然ストライキを以て強硬を以て、既に十餘年労働者の階級的魂大なる支持、撤退の下に
Pニタント組織をトバしてやつておろす。だが権達労働者は個々の立場を計る何れもは強硬な奴等退本
家を、キのめすこと出来ぬ。初めは段階的の撤退労働者の階級に於ける階級は冬々強硬化し
「最初者大山 細道から 重労働者」の労働者 協文 協約 群生に於ける「社会民主主義者」の協約
は権達を退ける。撤退の強硬をこくして、各階級の革命的労働者 撤退 撤退 撤退 撤退 撤退
水も根がくくおろすはなないか
だがそれと、つづいて労働者の斗争を、協約と強硬の強硬に存して、強硬化して行くのだ。